

## 令和4年度 幕張いもっこ保育園 事業報告

### 1. 事業報告にあたって

クラス編成が毎年悩んでいたところではあったが、令和4年度より、1クラスの人数は少人数にしてクラス編成をした。2歳児は14名で保育者3人体制、1歳児は12名で保育者3人体制、更に低月齢のクラスには午前中まで一名の保育士を加配した。そのことによって、全体園児数は増えているが子ども達が落ち着いて過ごす様子が見られ、保育者も安心して保育をするようになった。急な職員の休みにも対応でき、有給の取得率も上がっていった。

また短時間勤務職員については、運営会議で話し合い、それぞれの状況に合わせて、サポートする制度を設け、フルタイムで仕事を続けていく事が出来るように助け合うルールを作った。現在、それぞれの状況に合わせて勤務を続けている。

3月に保育士1名が他の職種に就きたいと希望をして、退職をした。保育士の仕事は重労働であり、保護者から求められることも多く、子どもが好きで始めた仕事ではあるが、厳しい仕事であると感じる。頑張っている職員に感謝しつつ、今後も意欲的に働いて行けるような職場作りをして行きたい。

給食が直営になり、保育側と連携が取りやすくなり、献立も特色を出し、子ども達が楽しみにする給食を提供してくれている。委託から直営になったことで経費は削減となり運営は安定したが、パート調理補助の定着がなかなかならず、募集を数回行った。インディードで募集をすると応募者があるので助かっている。パート職員が定着するように困っていることがあれば話しやすい環境を作り、指導するスタッフを付けて給食室内でチームワークを取っている。

実費徴収では、布団のレンタル料や卒園関係の必要経費を保護者の理解を得て徴収した。タオルペーパーや紙コップ等も費用がかかっているが現在は保護者負担が無い。コロナ補助金も減額となってくるので、今後どうするか検討して行きたい。

令和4年度は、園児にも職員にも、コロナ感染が広がり、大変な時もあったが、みんなの連携で乗り越えた。予防接種は希桜会の協力を得て、早めに受けることが出来た。今後も感染症には注意をしていきたい。

職員体制は、統括主任を置いて、他に保育主任を4名置いて仕事を分担していく事を目指したが、役割が分散してしまうところがあった。令和5年度は副主任をおき、仕事の分担を明確化していき、連携を取りやすくしていきたいと考えている。

保育の年間反省が全体で話すと時間がかかり深いところまで話すことが出来ないため、クラスごとディスカッションする時間を持ったところ頑張っているところを褒める機会にもなったので今後も続けて行きたいと思う。

## 2. 事業経営

### 【施設運営・利用状況】

年齢別月初在籍人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
1歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
2歳児	27	28	28	28	28	28	28	28	27	27	27	27
3歳児	28	27	27	27	27	27	27	27	26	26	26	26
4歳児	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
5歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
計	143	144	144	144	144	144	144	144	142	142	142	142

【利用者状況推移（分園設置後）】【各年度3月1日現在】

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
25年度	15	23	24	20	23	15	120
26年度	16	25	24	25	21	24	135
27年度	12	24	25	24	24	22	131
28年度	12	26	26	25	25	25	139
29年度	11	24	24	25	25	25	134
30年度	12	19	20	24	24	23	122
令和元年度	12	24	24	24	24	24	132
令和2年度	12	24	24	24	24	24	132
令和3年度	15	24	26	26	24	22	137
令和4年度	12	24	27	26	28	25	142

【主なできごと】

4 月	<p>園児数は143名でスタートした。全体の各年齢の園児数を増やしたが乳児においては、1歳児が12名を3人体制、2歳児は14名を3人体制とした。一クラスが少人数であるため、保育が安定した。食事や休息など生活の場は家庭的に少人数で過ごし、遊びに関しては両方の保育室を使って交流をして、興味に応じて遊ぶ場を子ども自身が選べる様にしたが感染状況は見極めた。</p> <p>幼児は、年齢別保育を軸にして、縦割り保育（異年齢保育）をもっと取り入れていくようにしたかったが、感染状況が厳しくなり、なかなか思ったようにやれない。</p> <p>職員体制に関しては、リーダー未経験の職員と相談相手になるベテラン保育士を組ませて、リーダーとして育成し、力を発揮できるようにした。</p> <p>行事に関しては、「コロナ禍でもやれる内容」に切り替えた。</p> <p>保育参観は、子どもと接触せず、こっそりとみていただく参観にして、その後、保護者懇談会を開き、保護者様の交流の時間も持てる様にした。園の方針を保護者に伝えた。</p>
5 月	<p>畑に向かい芋苗植えを行う。芋畑の周りの草原で楽しく遊んだりすることが嬉しい様子であった。</p> <p>庭の畑にも芋を植え、例年通り、稲作りを行い、代掻きや、田植えを経験した。</p> <p>園庭に鯉のぼりを飾った。</p> <p>内科健診、歯科検診を行った。</p> <p>交通安全指導を受ける。</p> <p>縦割り保育を行い、近隣散歩をした後、室内でおにぎりを食べ、「おにぎり遠足」を楽しんだ。</p> <p>入園希望の方への園見学を再開した。短時間で、5人までと人数制限をしたが希望の方が多かった。</p>
6 月	<p>保育参観は、子どもと接触せず、こっそりとみていただく参観にした。その後、乳児は懇談会を開き、保護者同士の交流の時間も持った。コロナ禍の子育てが孤独になっていることが問題視されているため、保護者同士の顔を合わせることを大切にした。一緒に育っていく子ども達の成長をみんなで見守っていききたいという園の方針を伝えた。完全休園があり、途中延期になったクラスもあった為、日程変更をした。</p>
7 月	<p>七夕は玄関に笹を飾り、お願いごとを短冊に書き飾る。</p> <p>夏祭りは、感染拡大から延期となり、日程変更をした</p> <p>休園が続き、特別保育が実施された。休んだ日を申請して保育料減免もあった。</p> <p>プールやプール開きをしたがほとんど出来ず、ボディペインティングも出来なかったが、室内の活動に替えて絵具を使った遊びを取り入れた。</p> <p>緊急時の役割分担表を作った。</p> <p>熱中症も対策が必要になり、外遊びの時間が取れず、室内の遊びを工夫した。</p>
8 月	<p>外遊びの時間が取れず、室内の遊びを工夫した。</p> <p>ペイント遊びを室内で行った。プールは各学年一回しか入れなかった。</p> <p>感染状況が厳しく、休園も続き、緊張の中、特別保育を行った。</p> <p>日程の変更が続いたが、夏祭りを行った。内容は変えず、乳児、幼児で日程を分けて、感染対策をしながら出店やゲームなど行った。</p>

9 月	<p>避難訓練と災害時の引渡し訓練 親子で災害時の対応を考えてもらった 濃厚接触者特定が無くなり、通常となって来た。 実施できていなかったクラスは保育参観を実施した。 運動会練習は順調に行っていた。 朝礼は職員間の連携を取るため、月曜日のみにして、他の日は「朝礼報告」をキッズリーにあげて全職員で共有するようにした。</p>
1 0 月	<p>3.4歳児運動会は平日に分園の園庭で開催を予定したが雨天のためホールで実施。 短い時間であったが、保護者は子どもの成長を感じ、大変喜んで応援していた。 5歳児運動会は予定通りに外で行い、子ども達自身がアナウンスをして、当日は精一杯の力を発揮していた。保護者もたくさんの拍手を送っていた。 芋ほりをした。芋が土の中から出てくると子ども達は歓声を上げて喜んでた。 芋煮会ではたくさんの芋や、他の野菜や果物で秋の味覚を楽しんだ。 芋煮会伝統的行事 旬を楽しむ 幕張小学校の生徒さんが「街たんけん」にやって来た。様々な質問を受け、保育園の役割や保育士の仕事内容の質問を受けた。</p>
1 1 月	<p>チャイルドフットラボ研修をオンラインで講習を受けた。講習会を受けた経験がない職員を中心に して参加した。悩みが解決することに繋がった。 秋の遠足 3歳児は船溜公園、4歳児がきぼーる、5歳児が卒園遠足として千葉動物公園にそれぞれ遠足に行った。みんなで出かけることが楽しい様子で、子ども達にとって思い出に残る経験となった。 幕張小学校・幕張南小学校・幕張東小学校と幼保小連携が取れた。校内の見学をしたり、体育館で運動をする経験をさせていただいたりしたことで、小学校への期待が高まったようであった。  幕張中学校で出前授業をした。園長、2年目の職員と出向き、保育士の仕事の魅力や嬉しかった経験など写真を見せながら伝えた。</p>
1 2 月	<p>園長が昆陽まつり参加 各学年の発表をみて回り、卒園時に会う。 小学校から教務主任の訪問があり、子どもの様子を見ていただく。 幕張中学校で出前授業をした。園長、2年目の職員と出向き、保育士の仕事の魅力や嬉しかった経験など写真を見せながら伝えた。 地域交流会は感染者がでていたため中止 ジェフおとどけ隊のサッカー教室を開催 4歳児は子育てアシスト実施する。 フラワーアレンジメント 近隣のお花屋さんで5歳児がフラワーアレンジメントを教わる。 お楽しみ会は、本園・分園と分けて実施した。職員の催し物を見て、クリスマスの曲でダンスをして楽しんだ。その後は、お部屋にあったサンタさんからのプレゼントを開き、楽しいひと時を過ごした。 餅つきを実施 ついたお餅は鏡餅にして飾った。大きな鏡餅を玄関に飾り、とても豪華であった。</p>

	た。給食室でついたお餅を子ども達のリクエストの味付けにして、おやつの際に美味しくいただいた。
1月	お正月遊び こまやすごろくなど各クラスでお正月遊びを行う。 学校見学を積極的に行った。5歳児が進学に期待を持つようになった。 全園児個人面談を行った。
2月	発表会 3歳児は保育室、4歳児はホール、5歳児はホールで発表会を行った。人数制限をしたが年長に関しては、保護者の強い要望に応じて、2名の参加とした。 令和5年度の入園説明会を行った 節分はボランティアさんに紛争していただき鬼退治をした。 職員の劇を通じて「3色群を学ぼう」というテーマで栄養について学んだ。
3月	桃の節句 ひな人形を飾る。 年間反省を各クラスで行った。園長・主任とディスカッション形式で報告した。 卒園式はマスクを外しても良いとなった。卒園式までは保護者にはマスク着用の協力を求め感染対策を行った。卒園式では卒園児はマスクを外して参加し、久しぶりにマスクのない顔が並んだ。卒園証書を立派に受け取る姿、卒園の歌やお別れの言葉には、保護者も職員も感動で一杯であった。 令和4年度卒園式 25名の卒園児を送った。職員一同で心のこもった装飾をして卒園児の成長を祝った。 お茶会は3階の和室を使い、主任がお茶を入れてお茶会をした。

## 【 安全管理 】

- 防災訓練 避難・消火訓練を毎月1～2回実施する。
- 健康管理 園児・職員の定期診断及び全職員の細菌検査を実施する。
- 衛生管理 健康・衛生管理には最善の注意を払い、伝染性疾患については貼り紙をするなど保護者に早めに周知し、園内の消毒など感染予防に努めた。
- 環境管理 施設の環境管理について日々点検を行う。  
業者による園舎消毒、清掃などを行う。日々の清掃に心がける。
- 地域交流 地域交流会 計画をしたが実施できなかった  
見学者は一家庭一名、人数制限をして受け入れをした
- 保育実習 保育士養成校からの実習生の受け入れを行う。  
感染状況に応じて判断した。
- 研修会参加 ZOOM などを利用して、各種研修会に参加し、資質の向上に努めた。  
※千葉県保育協議会 千葉市民間保育協議会  
チャイルドフットラボの研修は経験の浅い職員を中心にオンラインで講義をしていただき勉強した。具体的なアドバイスをもらい保育の向上につなげた。

花見川区の研修は回数が減り、施設長のみ参加になった。全国大会の研修にオンラインで参加した。

主任は横浜で開催された全保協の研修に一泊で参加した。

以 上